

静岡県西部地域しんきん経済研究所トピックス

2013年1月9日

「平成24年10～12月期中小企業景気動向調査」調査結果報告

－横ばいから悪化へ－

静岡県西部地域しんきん経済研究所（理事長 山本長行、以下県西部しんきん経済研究所）は、静岡県西部地域の中小企業を対象に行った「平成24年10～12月期中小企業景気動向調査」の調査結果をまとめましたのでご案内します。詳細は別添資料をご覧ください。

1. 調査概要（調査 静岡県西部地域しんきん経済研究所、協力 浜松商工会議所）

調査対象 静岡県西部地域の中小企業 636 社

調査方法 調査表による面接聴取法（遠州信用金庫、浜松信用金庫に委託）

調査時期 平成24年12月1～5日

回収状況 回収数 613 社（回収率 96.4%）

2. 「中小企業景気動向調査」の調査結果

①平成24年10～12月の業況について

静岡県西部地域の中小企業の業況判断指数（DI＝「良い」とみる企業の割合から「悪い」とみる企業の割合を引いた数値）は全産業ベースで－30.9 となった。前回、前々回と横ばいが続いていたが、今回は平成24年9月の前回調査（－19.5）と比べ11.4 ㊦の悪化となった。

②平成25年1～3月期の見通しについて

次期1～3月期では業況DIは6.9 ㊦悪化し－37.8となる。現状よりも3ヵ月後を悲観的にみるのは5四半期連続となる。

③主な業種別の動向

業種	業況DI (前期→当期→来期見込み)	動向
二輪部品製造 (55 社)	－27.3→ －54.5 →－61.8	業況DIは27.2 ㊦の悪化。受注減少に関するコメント多数。
自動車部品製造 (69 社)	－10.0→ －39.1 →－40.6	業況DIは29.1 ㊦の悪化。エコカー補助金終了よりも中国関連の影響を懸念する声が多い。
機械部品製造 (65 社)	－9.2→ －20.0 →－29.2	業況DIは10.8 ㊦の悪化。中国との関係悪化を懸念するコメントが多くみられる。
楽器部品製造 (19 社)	－11.8→ －47.4 →－52.6	業況DIは35.6 ㊦の悪化。好転まもなく再び悪化へ。
繊維製造 (25 社)	－8.3→ －41.7 →－25.0	業況DIは33.4 ㊦の悪化。5四半期続いた改善止まる。
卸売業 (87 社)	－28.1→ －40.2 →－48.3	業況DIは12.1 ㊦の悪化。販売価格DIは6四半期連続のマイナス水準（販売価格下落）。
小売業 (70 社)	－28.4→ －35.7 →－41.4	業況DIは7.3 ㊦の悪化。販売価格DIは4四半期連続のマイナス水準（販売価格下落）。
建設業 (72 社)	－19.7→ －9.9 →－32.4	業況DIは9.8 ㊦の改善。売上額・受注残DIはいずれもプラス水準。
不動産業 (39 社)	－7.9→ －7.7 →－5.1	業況DIは0.2 ㊦の小幅改善。少しずつだが取引が動いているとのコメント聞かれる。
飲食・宿泊・レジャー等 (14 社)	－46.7→ －50.0 →－57.1	業況DIは3.3 ㊦の悪化。売上額DIは再びマイナス水準へ。人手の不足感強い。

本件のお問い合わせ先

432-8036 浜松市中区東伊場2-7-1 浜松商工会議所会館9階

静岡県西部地域しんきん経済研究所 神谷・間淵 TEL 053-452-1510